

令和5年度 日之影町立日之影小学校 学校評価

- 「評価」について、目標の達成度に基づき、次の4段階で評価を行う。
 4：期待以上、3：期待どおり、2：やや期待を下回る、1：改善が必要
 ○「評価者」…「第一次」：学校による自己評価、「第二次」：保護者評価、「第三次」：学校運営協議会委員評価

評価項目	達成目標と方策	第一次評価者所見	評価		
			第一次	第二次	第三次
確かな学力の向上	1 学力向上を図るための授業力の向上と基礎学力の定着を図る指導の徹底	今年度課題であった「複式指導」について、主題研究の中で授業改善・指導方法の工夫等について検討を重ねてきた。児童・保護者・職員のいずれも、概ね目標に近い評価となった。主体的・対話的で深い学びの実現に向け、今後も充実を図っていく必要がある。	4	4	4
	2 読書指導の充実	児童・保護者・職員のいずれも、概ね目標に近い評価となった。図書委員会によるビブリオバトル、マスコットキャラクターの募集、授業での図書室の活用や読み聞かせ活動、家読週間の取組での家庭の協力、図書活動推進員配置による環境整備の充実など本に親しむ機会を確保した成果だと思われる。	4	4	4
	3 情報教育の充実	授業を参観した保護者の評価は高いが、職員の評価が低い。それは、職員が授業の中で「どんな場面で何のためにICTを活用するのか」さらなる活用力法や改善に向けた意識が高いからであると考えられる。	3	4	4
	4 キャリア教育の推進	「やまびこトーク」や総合的な学習の時間を通して、日之影町を思いながら活躍している人の話を聞いたり、職業観や生き方に触れたりすることができたが、保護者・職員の評価がやや低い結果となった。今後は、さらにならいを明確にしたキャリア教育を計画的に推進していく必要がある。	3	3	3
確かな人間力の向上	1 あいさつ・返事（返答）の習慣化への指導の充実	あいさつの取組について、校内・地域共に個人差が見られ、家庭と連携しながら今後も継続した指導が必要である。また、返事（返答）について、声が小さかったり、声を出さずに首をふるだけの児童が見られるため、今後も継続した指導を行っていく。	3	3	3
	2 安全指導の推進	本年度、風水害・地震・火災の避難訓練を実施した。児童の意識としては高まってきているが、今後は危険予知能力や危険回避能力の育成に向けての取組を一層充実させ、安全指導の徹底を図ってきたい。これまで隔年実施だった不審者対応避難訓練を今後、毎年実施していく。	3	3	3
	3 いじめ・不登校・問題行動に対する指導の徹底	毎月、児童へアンケートと教育相談を実施し、早期対応に努めてきた。「サンサン委員会」では、気になる児童の様子について全職員で情報の共有を図り、同じ方向性をもって指導にあたった。また、必要に応じて、保護者や子ども教室、教育委員会、町民福祉課、児童相談所と連携を図りながら児童・保護者対応等を進めてきた。	3	3	3
	4 特別な支援を要する児童への指導の充実	サポート会（学期1回）を計画的に設定することで、個に応じた支援の在り方や外部機関と連携して協議した内容等について全職員で共通理解を図り、具体的な指導に生かすことができた。	3	4	4
上 確かな体力の向上	1 心身の健康の指導の充実	日常的な保健指導について養護教諭を中心に全職員で共通実践しているため、健康的な生活習慣が定着してきている。今後は、定着できていない児童への個別指導を継続して実施していきたい。	3	4	3
	2 体力向上の推進	昨年の体力テストの結果を踏まえ、継続的に全体指導を行った結果、変容が見られた（成果が出た）ものと落ち込みが見られたものが判明した。今後、「体力向上プラン」をもとに体育指導の充実と運動の習慣化、また、運動に親しむ環境整備を図っていきたい。	3	4	3
家庭・地域との連携を図った教育の推進	1 全員参加のPTA活動	無理なく保護者・職員ともに全員が参加するPTA活動を実施することができた。P戸数が少ない中、今後も保護者と職員が協力して子ども達のためにPTA活動を推進していく。	3	4	4
	2 学校運営協議会・地域ネットワーク会の充実	学校運営協議会の中で、地域・保護者の立場から今年度や次年度の学校運営に生かせるご意見をいただくことができた。地域ネットワーク会からは、それぞれの分野で学校の様々な教育活動への支援をいただいている。さらに情報発信や情報交換、交流を深め、児童の健全な育成を目指した組織的・持続的な取組を推進していきたい。	3	4	4
	3 連携を図った教育活動の発信	学校の教育活動の様子を、ホームページや学校便り「青雲橋」、ネットワーク広報誌「やまびこ」等を活用して情報発信することができた。	4	4	4